

公益財団法人 兵庫県青少年本部

1 団体設立経緯・概要

設立経緯	青少年問題の持つ重要性に鑑み、広く県民の総意の下に、青少年健全育成活動を推進し、明日の兵庫を担う心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的として、昭和43年に設立。[H21事業計画概要では昭和60年3月27日設立]
基本財産	55,406千円(うち県出捐42,000千円(75.8%))
主な事業	ころ豊かな人づくり500人委員会の運営 青少年の多様な体験活動の推進 青少年を守り育てる県民スクラム運動の推進 ひょうごユースケアネット活動の展開 青少年活動コーディネーター・若者応援団の設置 県立施設等の管理運営 山の学校の運営 ひょうご出会いサポートセンターの運営

2 事業概要 (H21年度予算ベース)

(単位:千円)

事業区分	金額	財源内訳			
		県(一般)	県(特定)	交付金	自主
機運醸成・参画促進事業 [2.6人(県派2.4)]	3,019	1,097	368	0	1,554
ひょうご青少年憲章の普及・啓発	自 100	0	0	0	100
青少年を育てるスクラム運動の展開	県補 947	947	0	0	0
少年の主張全県大会の開催	県補 550	150	0	0	400
優れた活動の顕彰	自 565	0	0	0	565
ホームページ・機関紙による啓発	自 489	0	0	0	489
青少年愛護条例に伴う有害情報対策キャンペーン	県補 368	0	368	0	0
青少年活動指導者等育成事業 [2.3人(県派2.3)]	16,629	10,226	0	0	6,403
青年フォーラムの開催	自 400	0	0	0	400
青少年活動コアリーダー研修の実施	自 1,306	0	0	0	1,306
内閣府青年国際交流事業の実施	自 76	0	0	0	76
インターナショナルボランティアバンクの運営	自 42	0	0	0	42
ふるさと青年協力隊の派遣	自 2,820	0	0	0	2,820
兵庫・沖縄青年リーダー交流事業(友愛キャンプ)の実施	県補 2,387	628	0	0	1,759
ころ豊かな500人委員会の開催	県補 9,598	9,598	0	0	0
情報・ネットワーク調査等事業 [1人(県派0.7)]	71,366	41,476	28,941	0	949
青少年交流プラザの運営	県補 2,237	2,097	0	0	140
ひょうご子ども・若者応援団の募集	県補 145	145	0	0	0
ひょうご子ども・若者応援団普及活動促進員	基金 28,941	0	28,941	0	0

事業区分			金額	財源内訳			
				県(一般)	県(特定)	交付金	自主
	青少年活動コーディネーターの配置	県補	28,133	27,652	0	0	481
	地域づくり活動サポーター設置事業	県委	2,520	2,520	0	0	0
	青少年活動団体の支援	県補	9,312	9,062	0	0	250
	企業アンケート(調査・研究)	自	78	0	0	0	78
施設等運営事業 [34人(県派22)]			370,624	286,445	0	0	84,179
	県立神出学園の運営	県委	100,334	100,315	0	0	19
	県立山の学校の運営	県委	35,299	32,439	0	0	2,860
	県立いえしま自然体験センターの運営	県委	124,107	63,320	0	0	60,787
	県立免和野高原野外教育センターの運営	県委	110,884	90,371	0	0	20,513
先駆的事業開発・実施事業 [9.6人(県派9.1)]			45,639	39,527	3,492	0	2,620
	青少年自立支援プログラムの実施	県補	700	700	0	0	0
	ひょうごユースケアネットひきこもり対策事業	県補	1,749	1,749	0	0	0
	ひょうごっ子いきいき体験塾の展開	県補	1,500	1,500	0	0	0
	子どもの冒険ひろば事業の実施	県補	23,205	23,205	0	0	0
	若者ゆうゆう広場事業の推進	県補	5,958	5,958	0	0	0
	ひょうご子ども・若者応援団助成事業	自	1,500	0	0	0	1,500
	こうのとりの会事業の実施	基金	4,612	0	3,492	0	1,120
	ひょうご出会いサポートセンター事業の実施	県委	6,415	6,415	0	0	0
事業推進基盤強化事業 [0.1人(県派0.1)]			9,160	1,280	0	0	7,880
	地方青少年本部による自主事業の展開	自	7,650	0	0	0	7,650
	地方青少年本部受託事業	県委	1,280	1,280	0	0	0
	地方青少年本部長会議の開催	自	230	0	0	0	230
管理費等 [2.4人(県派2.4)]			63,013	60,923	0	0	2,090
	青少年本部維持運営費 (本部等4団体)	県補	5,891	3,801	0	0	2,090
	青少年本部運営費 (人件費等)	県補	57,122	57,122	0	0	0
事業費合計 [56人(県派41名 - 12県OB3) 事務局長等4人(県派2名含む)]			579,450	440,974	32,801	0	105,675
内訳	県委託事業		380,839	296,660	0	0	84,179
	県補助事業		149,802	144,314	368	0	5,120
	県基金充当事業		33,553	0	32,433	0	1,120
	自主事業		15,256	0	0	0	15,256
前年度合計			583,240	473,689	3,554	0	105,997
差引			3,790	32,715	29,247	±0	322

上記は、新行革プランの平成21年度実施計画をさらに精査し、財団において予算計上したものの。

### 3 新行革プランで定めた改革内容（プラン 161～162P）

- (1) 多様な活動主体と連携した協働事業の推進
- (2) 青少年の生きる力を育む先導的な体験学習の推進
- (3) 課題を抱える青少年への専門的な支援
- (4) 新たな社会問題に即応する先導的事業の推進
- (5) 事業の展開を支える組織基盤の充実

### 4 平成 21 年度計画（実施計画 76P、事業計画概要 8～10P）

行革プランで定めた改革内容	平成 21 年度計画
(1) 多様な活動主体と連携した協働事業の推進	<p>「ひょうご子ども・若者応援団」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普及活動促進員の配置：11名（青少年本部2名及び各地方青少年本部1名×9箇所）</li> </ul> <p>「第11期こころ豊かな人づくり500人委員会」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OB委員(キャリア委員)も含め幅広く委員を募集</li> <li>・セミナー回数削減、他地域のカリキュラムを受講可能</li> </ul> <p>「ひょうごユースケアネット推進会議」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間フリースクールへの支援を新規に展開</li> </ul>
(2) 青少年の生きる力を育む先導的な体験学習の推進	<p>「子どもの冒険ひろば」や「若者ゆうゆう広場」事業等の展開</p> <p>いえしま自然体験センターの管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度以降の指定管理者の選定に向け、公募にも対応できる競争力を備えた運営体制の構築</li> </ul>
(3) 課題を抱える青少年への専門的な支援	<p>神出学園の管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの重点化(4泊5日 3泊4日+家庭支援1日)</li> <li>・宿泊不適合への対応や対象年齢の引上げ</li> </ul> <p>山の学校事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随時・短期等のニーズに応じた受入(チャレンジ体験コース)</li> <li>・非常勤嘱託の活用等による運営体制の見直し</li> </ul> <p>青少年自立支援プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人生まなび塾」の拡充</li> <li>・神出学園の1日交流体験の新設(再掲)</li> </ul>
(4) 新たな社会問題に即応する先導的事業の推進	<p>インターネット上の有害情報対策の推進</p> <p>ひょうご出会いサポートセンターの推進</p>
(5) 事業の展開を支える組織基盤の充実	<p>公益財団法人への移行(平成21年4月)</p> <p>組織の見直し</p> <p>自主財源の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人化による寄附税制の優遇制度等を活用</li> </ul>

# 兵庫県道路公社

## 1 団体設立経緯・概要

設立経緯	地方道路公社法に基づき、兵庫県の区域及びその周辺の地域において、有料道路の整備及び管理等を行い、交通の円滑化と産業経済の発展に寄与することを目的として、昭和46年に設立。
基本財産	55,561,000千円(うち県出資55,561,000千円(100.0%))
主な事業	以下の路線の管理 播但連絡有料道路、遠阪トンネル、西宮北道路

## 2 事業概要 (H21年度予算ベース)

(単位：千円)

事業区分	金額	財源内訳			
		県(一般)	県(特定)	交付金	自主
播但連絡道路管理事業 [23人(県派14)]	2,877,847	0	0	0	2,877,847
ETC整備事業	0	0	0	0	0
道路維持費	1,027,700	0	0	0	1,027,700
設備更新経費	57,508	0	0	0	57,508
管理運営経費	1,792,639	0	0	0	1,792,639
遠阪トンネル管理事業 [3人(県派2)]	319,591	0	0	0	319,591
道路維持費	113,000	0	0	0	113,000
設備更新経費	3,100	0	0	0	3,100
管理運営経費	203,491	0	0	0	203,491
西宮北道路管理事業 [7人(県派5)]	378,402	0	0	0	378,402
道路維持費	108,200	0	0	0	108,200
設備更新経費	4,180	0	0	0	4,180
管理運営経費	266,022	0	0	0	266,022
事業費合計 [33人(県派21人(県派14) - 5県OB7)]	3,575,840	0	0	0	3,575,840
内訳					
県委託事業	0	0	0	0	0
県補助事業	0	0	0	0	0
県基金充当事業	0	0	0	0	0
自主事業	3,575,840	0	0	0	3,575,840
前年度合計	4,070,664	0	0	0	4,070,664
差引	494,824	±0	±0	±0	494,824

上記は、新行革プランの平成21年度実施計画をさらに精査し、財団において予算計上したものの。

### 3 新行革プランで定めた改革内容（プラン 130～131 P）

- (1) 有料道路事業の利用促進
- (2) 債務の縮減
- (3) 借入金利子負担の低減
- (4) 総務管理部門の統合

### 4 平成 21 年度計画（実施計画 55 P、事業計画概要 69～70 P）

行革プランで定めた改革内容	平成 21 年度計画
(1) 有料道路事業の利用促進	<p>利用促進施策の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の緊急経済対策として、但馬地域の観光振興、物流の効率化等を目的に料金割引（社会実験：平成 20 年 10 月 26 日から 1 年間）を実施</li> <li>・ 但馬地区や播但道沿線など各観光施設との連携、協力によるキャンペーン等の実施</li> </ul> <p>使いやすい道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 播但連絡道路の中国道以南の区間への ETC 設置完了 (H20)</li> <li>・ 中国道以北の区間への ETC 設置を検討</li> </ul> <p>安全で快適な道路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 播但連絡道路で積雪時でも冬用タイヤを装着車に限り通行可能とすることにより、冬期交通を確保</li> <li>・ 効率的な維持改善工事による片側通行規制の回数削減、排水性舗装・事故低減対策等のハード対策</li> </ul>
(2) 債務の縮減	<p>コストの縮減</p> <p>維持管理水準、業務管理手法を抜本的に見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 除草工の面積及び回数などの縮減を継続実施</li> <li>・ トンネル照明を部分点灯するなどによる電気料金の削減</li> <li>・ 橋梁や舗装の修繕、トンネル換気等設備補修などの事業規模・箇所の見直し</li> </ul>
(3) 借入金利子負担の低減	<p>公営企業金融公庫借入金の繰上償還に対する補償金減額・免除等の実現に向け、全国地方道路公社連絡協議会や地方有料道路問題連絡協議会を通じて引き続き要望</p>
(4) 総務管理部門の統合	<p>総務管理部門の統合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地開発公社、住宅供給公社と総務管理部門を統合 (H22.4)</li> </ul> <p>遠阪トンネル管理事務所の廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 播但連絡道路管理事務所に統合 (H21.4)</li> </ul>

## 財団法人 兵庫県体育協会

### 1 団体設立経緯・概要

設 立 経 緯	昭和 63 年 3 月 31 日、県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発育及びスポーツ精神の高揚を図り、もってスポーツの振興、健康の増進、文化の高揚及び福祉の増進に寄与するために設立。 平成 10 年 10 月 (財)兵庫県健康教育公社と統合 給食事業を実施していた(財)兵庫県健康教育公社を平成 10 年 9 月 30 日に解散し、(財)兵庫県体育協会と統合
基 本 財 産	563,379 千円 うち県出捐 366,080 千円 (65.0%) 旧(財)兵庫県健康教育公社県出捐分 123,229 千円 (県全体 86.9%)
主 な 事 業	県民スポーツ振興事業 競技力強化対策事業 県立施設の指定管理 学校給食事業

### 2 事業概要 (H21 年度予算ベース)

(単位：千円)

事業区分	金額	財 源 内 訳			
		県(一般)	県(特定)	交付金	自 主
競技力の維持・向上 [43人(県派19)]	835,091	589,695	238,262	0	7,134
強化対策事業	県補 250,000	250,000	0	0	0
はばたけ兵庫推進プラン兵庫タレント発掘事業	県委 64,417	64,417	0	0	0
国民体育大会兵庫県選手団派遣費	県委 6,107	6,107	0	0	0
全国スポーツ・レクリエーション祭派遣	県委 31,339	31,339	0	0	0
海洋体育館指定管理事業	県委 102,408	102,408	0	0	0
総合体育館指定管理事業	県委 138,192	134,861	3,331	0	0
武道館指定管理事業	基金 147,885	0	147,885	0	0
文化体育館指定管理事業	基金 87,046	0	87,046	0	0
円山川指定管理事業	県委 7,697	563	0	0	7,134
県民スポーツ振興事業・県民体育大会開催費					
県民の健康・体力の増進 [43人(県派19)](再掲)	3,875,865	0	0	0	3,875,865
スポーツ指導者養成事業	自 1,684	0	0	0	1,684
兵庫県スポーツ少年団事業	自 8,326	0	0	0	8,326
学校給食事業	自 3,576,946	0	0	0	3,576,946
スポーツ施設自主事業	自 288,909	0	0	0	288,909

事業区分		金額	財源内訳			
			県(一般)	県(特定)	交付金	自主
事業費合計 [43人(県派19名 - 21名OB3)]		4,710,956	589,695	238,262	0	3,882,999
内 訳	県委託事業	350,160	339,695	3,331	0	7,134
	県補助事業	250,000	250,000	0	0	0
	県基金充当事業	234,931	0	234,931	0	0
	自主事業	3,875,865	0	0	0	3,875,865
前年度合計		4,589,834	567,453	248,765	0	3,773,616
差引		121,122	22,242	10,503	±0	109,383

上記は、新行革プランの平成21年度実施計画をさらに精査し、財団において予算計上したものの。

### 3 新行革プランで定めた改革内容(プラン188~189P)

- (1) 競技スポーツの推進
- (2) 生涯スポーツの推進
- (3) 障害者スポーツへの支援
- (4) 県立施設の管理運営の合理化・効率化
- (5) 学校給食事業の推進

### 4 平成21年度計画(実施計画96P、事業計画概要88~91P)

行革プランで定めた改革内容	平成21年度計画
(1) 競技スポーツの推進	<p>国体で継続的に天皇杯8位以内入賞をめざし、「のじぎく兵庫国体」の開催を契機に培った全国トップレベルの競技力の維持・向上</p> <p>・新兵庫県競技力向上事業「はばたけ兵庫推進プラン」</p>
(2) 生涯スポーツの推進	<p>生涯スポーツ社会の実現に向け、加盟団体等との連携を強化</p> <p>・スポーツクラブ21ひょうごの推進</p> <p>・公認スポーツ指導者研修会の開催</p> <p>・指導者養成講習会の開催</p>
(3) 障害者スポーツへの支援	<p>障害者スポーツの振興を図るため、(財)兵庫県障害者スポーツ協会との連携・協力を推進</p> <p>・体育協会が有する指導者養成やボランティア確保等のノウハウを提供</p>

(4) 県立施設の管理運営の合理化・効率化	現指定管理 5 施設全ての指定を獲得するため、競争力を備えた運営体制の構築に向けて合理化・効率化		
	施設名	指定管理の状況	期間
	文化体育館	平成 19 年度公募実施（指定獲得）	H20～22
	海洋体育館	平成 20 年度公募実施（指定獲得）	H21～23
	総合体育館	平成 20 年度公募実施（指定獲得）	H21～23
	武道館	平成 21 年度公募実施予定	H21
	円山川公苑	平成 22 年度公募実施予定	H21～22
文化体育館、総合体育館については、専門的ノウハウを有する民間企業等を構成団体とした「兵庫県体育協会グループ」として指定獲得			
(5) 学校給食事業の推進	「安全・安心」な食品提供体制の充実及び市町に対する食品管理の支援を図り、さらなる食品検査の充実や食育支援などを推進		



# 財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構

## 1 団体設立経緯・概要

設立経緯	<p>平成 18 年 4 月 1 日、阪神・淡路大震災の教訓から得た 21 世紀の成熟社会の基本課題である安全・安心なまちづくり、共生社会の実現を着実に推進するため、命の尊厳と生きる喜びを高めるヒューマンケアの理念に基づき、総合的なシンクタンクとして調査研究を進めるとともに、諸課題について政策提言等を行い、もって 21 世紀文明の創造に寄与するために設立。</p> <p>平成 15 年 4 月 (財)21 世紀ヒューマンケア研究機構の設立</p> <p>新しい地域社会づくりに関する研究を行ってきた(財)21 世紀ひょうご創造協会と、長寿社会問題、家庭問題、こころのケア問題に関する研究を行ってきた(財)兵庫県ヒューマンケア研究機構を統合することにより、総合的なシンクタンクとして、命の尊厳と生きる喜びを高めるヒューマンケアの研究を進め、21 世紀の成熟社会における諸課題についての政策提言機能等の充実を図るとともに、効率的、効果的な団体運営を行う。</p> <p>平成 18 年 4 月 (財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構の設立</p> <p>これまで創造的復興や新たな地域づくりに先導的な役割を果たしてきた 2 つのシンクタンク(財)阪神・淡路大震災記念協会と(財)21 世紀ヒューマンケア研究機構を統合し、幅広い研究領域への的確な対応を図るとともに、震災の経験と教訓を継承・発信する諸事業を展開。</p>
基本財産	<p>1,007,110 千円</p> <p>うち県出捐 100,000 千円 (9.9%)</p> <p>旧(財)21 世紀ヒューマンケア研究機構県出捐分 23,850 千円 (県全体 12.3%)</p>
主な事業	<p>調査研究の実施及び研究成果の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査研究             <ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心なまちづくり政策研究、共生社会づくり政策研究、コミュニティ防災調査研究 等</li> </ul> </li> <li>・ 学術交流センター事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>21 世紀文明シンポジウム、HUMAP、大学連携ひょうご講座等</li> <li>人と防災未来センターの管理運営</li> <li>こころのケアセンターの管理運営</li> </ul> </li> </ul>

## 2 事業概要 (H21 年度予算ベース)

(単位：千円)

事業区分	金額	財源内訳			
		県(一般)	県(特定)	交付金	自主
研究調査事業 [6人(県派1)]	106,775	0	0	103,135	3,640
研究事業	34,425	0	0	30,785	3,640
オーラルヒストリーに関する調査事業	2,850	0	0	2,850	0
共同研究支援事業	6,650	0	0	6,650	0
研究企画委員会	855	0	0	855	0
調査研究事業運営費	61,995	0	0	61,995	0

事業区分	金額	財源内訳			
		県(一般)	県(特定)	交付金	自主
学術交流事業 [8人(県派7)]	113,596	57,656	0	36,700	19,240
シンポジウム開催事業	基金 5,700	0	0	5,700	0
ニューズレター「Hem21」発行事業	基金 2,540	0	0	2,300	240
研究成果ホームページ発信事業	基金 1,900	0	0	1,900	0
「21世紀ひょうご」等出版事業	基金 2,700	0	0	0	2,700
大学連携ひょうご講座開催事業	基金 18,500	0	0	7,700	10,800
21世紀文明研究セミナー開催事業	基金 2,000	0	0	2,000	0
HUMAP構想推進事業	県委 57,656	57,656	0	0	0
研究交流支援事業	基金 7,875	0	0	7,875	0
学術交流事業運営費	基金 14,725	0	0	9,225	5,500
管理費 [8人(県派6)]	106,544	77,535	0	11,290	17,719
外部評価事業	基金 2,000	0	0	2,000	0
事務費(補助)	県補 77,535	77,535	0	0	0
事務費	基金 27,009	0	0	9,290	17,719
人と防災未来センター管理運営事業 [22人(県派12)]	876,392	322,275	263,623	89,955	200,439
展示事業	県委 175,783	75,143	75,142	0	25,498
施設維持管理事業	県委 247,005	63,477	63,477	0	120,051
資料収集・保存事業	県委 16,598	12,395	2,072	0	2,131
災害対策専門職員の育成事業	県委 8,033	4,016	4,017	0	0
実践的な防災研究と若手防災専門家の育成事業	県委 152,839	88,437	59,512	0	4,890
災害対応の現地支援事業	県委 3,000	3,000	0	0	0
交流ネットワーク事業	県委 3,928	1,964	1,964	0	0
研究受託等事業	自 8,360	0	0	0	8,360
E-ディフェンス利活用の推進事業	県委 0	0	0	0	0
ひょうご安全の日推進事業支援事業	基金 69,300	0	0	69,300	0
1.17は忘れないPR事業・支援事業	基金 12,600	0	0	12,600	0
1.17減災シンポジウム開催事業	基金 3,390	0	0	3,390	0
1.17防災未来賞選奨事業	基金 4,000	0	0	4,000	0
市民による追悼行事支援事業	基金 665	0	0	665	0
管理費	県委 170,891	73,943	57,439	0	39,509
こころのケアセンター管理運営事業 [12人(県派7)]	220,386	181,979	4,212	7,620	26,575
調査研究事業	県委 15,750	11,950	3,800	0	0
人材養成・研修事業	県委 1,552	533	0	0	1,019
情報の収集発信・普及啓発事業	県委 1,061	1,061	0	0	0
連携・交流事業	県委 158	158	0	0	0
施設管理事業	県委 168,689	168,277	412	0	0
診療所、宿泊施設運営事業	自 14,840	0	0	0	14,840
研究受託事業	自 3,716	0	0	0	3,716

事業区分		金額	財源内訳			
			県(一般)	県(特定)	交付金	自主
	ヒューマンアカレッジ事業	14,620	0	0	7,620	7,000
事業費合計 [56人(県派33名 - 19県OB4)]		1,423,693	639,545	267,835	248,700	267,613
内 訳	県委託事業	1,022,943	562,010	267,835	0	193,098
	県補助事業	77,535	77,535	0	0	0
	県基金充当事業	296,299	0	0	248,700	47,599
	自主事業	26,916	0	0	0	26,916
前年度合計		1,484,839	691,005	267,835	249,505	276,494
差引		61,146	51,460	±0	805	8,881

上記は、新行革プランの平成21年度実施計画をさらに精査し、財団において予算計上したものの。

### 3 新行革プランで定めた改革内容(プラン157~158P)

- (1) 公益性・政策性の高い調査研究の実施
- (2) 人と防災未来センターの管理運営
- (3) こころのケアセンターの管理運営

### 4 平成21年度計画(実施計画74P、事業計画概要1~3P)

行革プランで定めた改革内容	平成21年度計画
(1) 公益性・政策性の高い調査研究の実施	<p>自主調査研究事業 「安全安心なまちづくり政策研究群」及び「共生社会づくり政策研究群」の2つの研究群で重点研究の明確化を図るとともに、人と防災未来センター及びこころのケアセンターとの連携強化のもと、一層の分野横断的・実践的な政策研究の推進、社会動向に即応した研究への取組、緊急課題への迅速な対応を図り、政策立案につながる研究を行う。</p> <p>学术交流事業 県民の生涯学習の一層の充実に寄与するための講座やシンポジウムの実施、情報誌の発行、ITの活用等、多様な媒体により、高度で専門的な知識を求める県民や国内外の研究者等へ、研究成果の発信・還元を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災15周年記念シンポジウム</li> <li>・ひょうご講座開催</li> </ul>
(2) 人と防災未来センターの管理運営	<p>「ひと未来館」としての展示運営を平成20年度末で廃止 地震、津波等の自然災害に対する防災展示を充実し、防災未来館と一体的に運営 国際的な防災・環境に関する調査研究、支援活動等の拠点として活用</p>
(3) こころのケアセンターの管理運営	<p>トラウマ・PTSD等のこころのケアに関する実践的研究や研修、相談・診療を実施 国内外での災害等発生時の地域支援活動を実施</p>

〔その他〕

中期計画の策定等評価・検証の実施

- ・ 新中期計画（H22～24年度）の策定（H21年度中）
- ・ 外部評価の実施